

## 第20回 教育セミナー

# 国語科分科会

### 研究主題

言葉の力を身に付け活用し、学びに向かう児童を育てる国語科の授業づくり  
～ 主体的・対話的な言語活動を通して～

主査 邑上裕子 (明星大学特任准教授)

助言者 水戸部修治先生 (文部科学省初等中等教育局教科調査官)

### 研究の ねらい

学習指導要領改訂の動向を踏まえ、国語科で育成すべき資質・能力を育てるための授業づくりについて、授業実践を通して思考し考察する。

### 研究の 内容

1. 育成する資質・能力を明確にし、実践単元で具体化を図る。
2. 学年や領域に応じた、主体的・対話的な学びを実践研究する。
3. 子供の学びの深まりや成長の変化を具体的に見取る方法を工夫する。

### 実践 発表

1. 菓子 綾主任教諭 2年・単元「1年1組のみんなにおもちゃの作り方せつめい書をあげよう」  
教材「おもちゃの作り方」
  - 書く活動で、交流活動を意図的に設定し、対話的な学びの実現を図る。
  - 互いの記録の仕方を交流し合い、自己評価させる場面を作る。
2. 福山貴司教諭 3年・単元「民話や昔話のおもしろいところを全校に紹介しよう」  
教材「三年とうげ」
  - 単元のゴールを設定し、主体的に学習に臨む態度を育てる。
  - ペア対話学習を取り入れたり、感想を伝え合ったりして、共同的に学習を進める。
3. 関口友子主任教諭 5年・単元「よさを見付けることを通して、ちがいを味わおう」  
教材「世界遺産 白神山地からの提言」
  - 自分の意見を明確にし、グループ交流を通して自分の考えを深める。
  - 学習カードの活用により、学習の気付き深まりの変化を可視化する。

### ■タイムスケジュール■

	9:30	10:00	11:00	11:30	11:40	12:30	13:30	13:45	14:30	14:40	16:10	16:20	17:20	17:30
受付	国語科分科会					昼食・休憩	開会挨拶	研究概要	基調講演	休憩	シンポジウム	休憩	特別講演	閉会挨拶
	研究発表	協議	休憩	指導講演										

期日：平成29年2月25日(土) 開会10:00 閉会17:30 (受付9:30分～)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 東京都渋谷区代々木神園町3-1 (最寄り駅 小田急線参宮橋)

主催：一般財団法人総合初等教育研究所 後援：文部科学省・東京都教育委員会 協賛：株式会社文溪堂

第20回 教育セミナー

# 社会科分科会

## 研究主題

主体的・対話的な学習による社会科の授業づくり  
～ 社会的事象の見方・考え方を生かした深い学びを求めて～

主査 梶井 貢 (一般財団法人 総合初等教育研究所 室長)

助言者 澤井 陽介 先生 (文部科学省 初等中等教育局 視学官)

## 研究の ねらい

1. 社会科で育てる資質・能力を明確にし、その具体化を図る。
2. 主体的・対話的な学びをどのようにして実現するかを吟味・考察する。
3. 子供が学習成果を自覚し、次の学習に意欲がつながる評価の仕方を模索する。

## 研究の 内容

1. 「生かす」段階において、社会に見られる課題や社会の発展を考える教材の開発
2. 「主体的・対話的な学び」につながる問題解決学習の改善、学習活動や学習形態の工夫
3. 「学びの深まり」の評価の工夫、「自己の成長」を自覚する評価の工夫

## 実践 発表

1. 大木直之教諭 5年・小単元「自動車をつくる工業」 終末の「生かす」段階の指導  
○ 自動車工業の学習を活用して「日本の工業の強み」へと広げ、子供の考えを深めていく。  
check! → ○ 「クラゲチャート・説明文」によるパフォーマンス的評価、「宣言文」のミニ発表会
2. 笠原 駿教諭 5年・小単元「情報と私たちの暮らし」 終末の「生かす」段階の指導  
○ 「アマゾン」を事例に、ネット・サービスの拡大（販売、流通、消費まで）を取り扱う。  
check! → ○ 「学びのカード」によるパフォーマンス的評価、「情報との付き合い方」の討論会
3. 田内利美教諭 6年・小単元「活気あふれる町人文化」 終末の「生かす」段階の指導  
○ 「歌舞伎・浮世絵」を保護・保全する営みに着目し、文化遺産についての考えを深める。  
check! → ○ 「コンセプトマップ」によるパフォーマンス的評価、ディベート的な話し合い活動

## ■タイムスケジュール■

9:30	10:00	11:00	11:30	11:40	12:30	13:30	13:45	14:30	14:40	16:10	16:20	17:20	17:30
受付	社会科分科会				昼食・休憩	開会挨拶	研究概要	基調講演	休憩	シンポジウム	休憩	特別講演	閉会挨拶
	研究発表	協議	休憩	指導講演									

期日：平成29年2月25日(土) 開会10:00 閉会17:30 (受付9:30分～)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 東京都渋谷区代々木神園町3-1 (最寄り駅 小田急線参宮橋)

主催：一般財団法人総合初等教育研究所 後援：文部科学省・東京都教育委員会 協賛：株式会社文溪堂

## 第20回 教育セミナー

# 算数科分科会

### 研究主題

自ら課題を見付け、主体的・対話的に行う算数の問題解決  
～ 数学的な見方・考え方を働かせ、問題を発見・解決し、変容する深い学びの実現を目指して～

主査 廣田敬一（帝京大学客員教授）

助言者 笠井健一先生（文部科学省初等中等教育局教科調査官）

### 研究の ねらい

学習指導要領改訂の動向を踏まえ、算数科で育成すべき資質・能力を育てるための授業づくりについて、授業実践を通して試行し考察する。

### 研究の 内容

1. 子供が課題を見いだす活動を工夫する。
2. 見通し、振り返りなど、問題解決過程における子供の自己評価の活動の在り方を検討する。
3. 自己の考えを表現したり、表現された他者の考えを読み取ったりする対話的な学びの活性化の手立てを具体化する。
4. 学びの成果を、生活や次の学習に活用しようとする態度を育成する手立てを具体化する。

### 実践 発表

1. 青木裕子指導教諭 **2年・単元「表とグラフ」** **統計的な内容の指導**
  - 子供が必要な資料を集め、分類整理し、表現したり読み取ったりする。
  - 互いの記録の仕方を交流し合い、見直しをする活動で、自己評価させる。
2. 門田剛和主任教諭 **4年・単元「わり算のしかたを考えよう」** **習熟度別指導**
  - 習熟の遅いコースの授業。絵や図で確かめる場面を設定し、全体で共有してから考えていく。
  - 説明を周りの子につなげたり、ペアで確かめさせたりしながら理解を深める。
3. 山口和也主任教諭 **5年・単元「倍数と約数」** **プログラミング的な思考**
  - 「プログラミング的な思考」の育成につながるように、手順を記述し、その意味を読み取り、実行する活動を取り上げる。
  - 『エラステネスのふるい』を扱い、素数の調べ方について、簡単で効率的な方法を吟味していく。

### ■タイムスケジュール■

9:30	10:00	11:00	11:30	11:40	12:30	13:30	13:45	14:30	14:40	16:10	16:20	17:20	17:30
受付	算数科分科会				昼食・休憩	開会挨拶	研究概要	基調講演	休憩	シンポジウム	休憩	特別講演	閉会挨拶
	研究発表	協議	休憩	指導講演									

期日：平成29年2月25日（土） 開会10:00 閉会17:30（受付9:30分～）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 東京都渋谷区代々木神園町3-1（最寄り駅 小田急線参宮橋）

主催：一般財団法人総合初等教育研究所 後援：文部科学省・東京都教育委員会 協賛：株式会社文溪堂

## 第20回 教育セミナー

# 理科分科会

### 研究主題

問題を科学的に解決する資質・能力を育成する理科学習  
～ 自然の事象と向き合い主体的・対話的に問題解決する理科授業を通して～

主査 永田 学 (帝京平成大学准教授)

助言者 鳴川 哲也 先生 (文部科学省初等中等教育局教科調査官)

### 研究の ねらい

- 3つの場面の「理科の見方・考え方」の捉え方と育成する資質・能力を明らかにする。  
■問題を見いだす場面 ■問題を探究する場面 ■問題を解決する場面
- 主体的・対話的な学びをどのようにして実現するかを吟味・考察する。
- 振り返りから次の学習に意欲がつながる評価の仕方を模索する。

### 研究の 内容

- 3つの場面での有効な指導・支援の工夫、資質・能力育成につながる手立ての工夫
- 「主体的・対話的な学び」を問題解決学習のプロセスで具体化
- 「振り返り」の評価内容の工夫、「学びの成果」を自覚し、意欲につなげる指導の工夫

### 実践 発表

3つの実践ともに、第4学年「金属、水、空気と温度 (もののあたたまり方)」を共通して取り上げる。  
さらに、問題解決の3つの場面 (問題の発見、探究、解決) での指導の工夫を実践提案する。

- 中村健太郎教諭 **問題を見いだす場面での指導**  
check! → ○比較・関連付けによる問題の発見の仕方、グループでの対話的な学びの在り方
- 三井寿哉教諭 **問題を探究する場面での指導**  
check! → ○既有経験を基に実験方法を構想する指導、学んだことを生活に生かす工夫
- 木月里美教諭 **問題を解決する場面での指導**  
check! → ○根拠のある予想・仮説を生かした考察の仕方、振り返りカードの工夫 (自己評価)

### ■タイムスケジュール■

9:30	10:00	11:00	11:30	11:40	12:30	13:30	13:45	14:30	14:40	16:10	16:20	17:20	17:30
受付	理科分科会				昼食・休憩	開会挨拶	研究概要	基調講演	休憩	シンポジウム	休憩	特別講演	閉会挨拶
	研究発表	協議	休憩	指導講演									

期日：平成29年2月25日(土) 開会10:00 閉会17:30 (受付9:30分～)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 東京都渋谷区代々木神園町3-1 (最寄り駅 小田急線参宮橋)

主催：一般財団法人総合初等教育研究所 後援：文部科学省・東京都教育委員会 協賛：株式会社文溪堂

第20回 教育セミナー

# 道徳科分科会

研究主題

自ら考え、共に議論する道徳科の授業づくり  
～ 豊かな道徳性を育む学びを求めて ～

主査 長谷 徹 (元・東京家政学院大学教授)

助言者 赤堀博行先生 (文部科学省初等中等教育局教科調査官)

研究の  
ねらい

1. 道徳科における資質・能力を明確にし、授業実践に生かす。
2. 主体的・対話的な学びを促す学習活動や学習形態を工夫する。
3. 自己を見つめ、物事を多角的・多面的に考え、自己の生き方についての見方や考えを深め、意欲につながる評価の仕方を模索する。

研究の  
内容

1. 指導の意図、育てる道徳性など指導観を明確にした授業案づくりと展開を工夫する。
2. 子供たちが多様な思いや考えを出せるように、発問や書く活動、教材、交流できる場の設定などを工夫する。
3. 自己を振り返り、自己を見つめる活動を重視し、自分なりの課題を把握できるような活動を工夫する。
4. 子供たちの成長を見取る評価方法を工夫し、指導者自身が授業を振り返る手立てを考察する。

実践  
発表

1. 春原裕太主任教諭 1年・主題名「友だちのことを想って」 B (友情、信頼) 教材名「二わのことり」
  - 主人公への共感を深め、教材から浮かび上がった道徳的問題を「自分だったら」という視点で捉えて授業を展開する。
  - 毎時間書く活動として道徳ノートを活用し、子供自身が成長や学習状況を総合的に知ると共に、評価につなげる。
2. 小島嘉之教諭 4年・主題名「感動する心」 D (感動、畏敬の念) 教材名「富士と北斎」
  - 感動体験から問題意識をもたせ、教材に新たな登場人物を加え役割演技を行う。
  - 付箋に書かせて分類整理する話し合いを通して、互いの考え方・感じ方の相違点に気づき、多角的に考える。
3. 野手幹博主任教諭 6年・主題名「広い心」 B (相互理解、寛容) 教材名「銀のしょく台」
  - 自分の考え方・感じ方を明らかにし、他者理解、自己理解を深めるため、議論する学習場面を設定。
  - 振り返りを共有し、互いに評価し合う活動を取り入れることで、自己の生き方に対する考えを深めさせる。

## ■タイムスケジュール■

	9:30	10:00	11:00	11:30	11:40	12:30	13:30	13:45	14:30	14:40	16:10	16:20	17:20	17:30
受付	道徳科分科会					昼食・休憩	開会挨拶	研究概要	基調講演	休憩	シンポジウム	休憩	特別講演	閉会挨拶
	研究発表	協議	休憩	指導講演										

期日：平成29年2月25日(土) 開会10:00 閉会17:30 (受付9:30分～)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 東京都渋谷区代々木神園町3-1 (最寄り駅 小田急線参宮橋)

主催：一般財団法人総合初等教育研究所 後援：文部科学省・東京都教育委員会 協賛：株式会社文溪堂